

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

| | | | |
|-----------|---|---------|-------------|
| 事業者名 | グループホームはるこでまりユニット | 評価実施年月日 | 2008年10月13日 |
| 評価実施構成員氏名 | 猪股久美、石井茂、能登浩子、米澤秀人、塚越利恵子、井岡未希、佐々木美恵子、吉田和子 | | |
| 記録者氏名 | 猪股久美 | 記録年月日 | 2008年10月15日 |

北海道

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|-----------------------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> | <p>グループホームの理念があり、それに向けて実践している。</p> | ○ | <p>継続していきたい。</p> |
| <p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> | <p>ユニット玄関に理念を掲示している。グループホーム会議、ユニット会議、カンファレンスで話し合い、取り組んでいる。</p> | ○ | <p>理念に結びつくケアを行っていく。</p> |
| <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> | <p>家族に理解してもらえるよう玄関に掲示し、面会時に話しをしている。地域交流は行っているが理念は伝えていない。</p> | ○ | <p>交流の場を広げながら理念を知ってもらうよう努力する。</p> |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> | <p>散歩中の挨拶、外にベンチを置き団欒できるよう配慮しているが、日常的な付き合いまではいたっていない。</p> | ○ | <p>挨拶を通して気軽に立ち寄ってもらうよう努力する。</p> |
| <p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> | <p>グループホームの理念があり、それに向けて実践している。行事の参加、保育園との交流、今年ではできなかったが、町内会の行事(花壇の花植え)の参加もある。</p> | ○ | <p>今年できなかった、行事の参加、廃品回収の継続。</p> |
| <p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> | <p>地域との交流はあるが暮らしに役立つことは行っていない。</p> | ○ | <p>今後は取り組んでいきたい。</p> |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|--|-----------------------|--------------------------------|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。 | 自己評価を行なうことで、自分自身のあり方を確認することができる。また読み合わせで話し合いも行っている。外部評価の結果はグループホーム会議で報告し、改善に取り組んでいる。 | | |
| 8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 自己評価及び外部評価については、必ず報告し、助言などがある。 | | |
| 9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。 | 市の担当者の運営推進会議への参加はないが、介護保険制度などわからない事については、常に出向いて、アドバイスを受けている。 | | |
| 10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。 | 法人内の研修で一部の職員は学ぶ機会はあるが、地域福祉権利擁護事業、成年後見制度の学習会が少なく、学べていない職員が多い。 | ○ | もっと学習会の機会を増やし学んでいく。 |
| 11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 委員会があり、話し合いを行っている。また、研修で意識を高めている。 | ○ | 外部の研修の参加で、さらに深く学んでいく。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 入居時は、入居に際しての質問などは聞くようにしている。また、解約に至る時も同様である。時には何度も相談を重ねたり、主治医に相談することもある。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|--|-----------------------|-------------------------------|
| <p>13 ○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>利用者と話す時間を作り、何でも話せるような関係作りができています。苦情があった場合は受付、その都度話し合いをしている。また、第三者委員会もある。</p> | | |
| <p>14 ○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p> | <p>書面で報告、体調の変化時には電話にて行っている。訪問時は詳しい暮らしぶりを伝えている。金銭の管理を依頼されている方には、毎月集計し、出納表を作成し、渡している。</p> | ○ | <p>家族訪問時には積極的に伝えていく。</p> |
| <p>15 ○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>家族懇談会があり、それを運営に反映している。</p> | | |
| <p>16 ○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>定期的な会議(グループホーム会議、ユニット会議)などで意見交換を行っている。またカンファレンスや申し送り時に意見や提案をすることができている。</p> | | |
| <p>17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p> | <p>職員が少ない状況であり、不十分なこともあるが、出来るかぎり実施している。</p> | | |
| <p>18 ○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p> | <p>離職に関しては、減ってはいない。ユニット及び法人内異動は、年に1~2回している。その際は、見知らぬ人に敏感な入居者については、すぐには関わらないなど配慮している。</p> | ○ | <p>離職がなくなるよう、検討していく。</p> |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|------------------------|-------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>グループホーム内では、学習会の年間計画を立て実施している。法人内では、職員の経験年数別に、毎月様々な内容研修会を実施している。また、道のグループホーム協議会の研修などにも参加している。</p> | | |
| 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>外部の研修の際、また管内や市のグループホーム協議会の役員会などで、交流もっている。</p> | | |
| 21 | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>日々悩みなどを聞くようにはしている。親睦会もあり、ストレスの解消の場となっている。</p> | | |
| 22 | <p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>個人面談を行い、希望など聞き、取り組んでいる。</p> | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>事前訪問を行い、状況を聞いている。本人の思いや不安などを聞いたり、日々の様子を見ながら内面的なものも、一緒に感じ取れるよう努力している。</p> | | |
| 24 | <p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>不明な点は随時、家族に確認している。また積極的に話しやすい雰囲気作りを行っている。</p> | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|---|-----------------------|--|
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 本人や家族が希望しているものとケアの立場からのズレがないか、より良い関係を作りながら、言葉や表情で感じ取るよう努力している。本人の思いに沿うようケアの工夫も行っている。 | | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 本人の情報を念頭に置きながら、徐々に馴染めるよう様子を見ながら関わっている。ケアの内容についても、不安にならないよう、本人や家族に丁寧に説明し、現状と本人の意向がずれないように工夫している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。 | 本人の得意なもの(家事など)で知識を教えてもらっている。一緒に行動(寄り添ったり、歌、ゲーム、外出)することで様々なことを学んでいる。 | ○ | ゆっくりと会話したり、関わりを持つことで本人を理解し、関係作りに努めていく。 |
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。 | 行事、誕生会の参加などで交流を深め、家族との信頼関係を築いている。 | ○ | 今後も同様に家族との交流を増やしていく。 |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。 | 面会時に話しを聞き、家族との関係がより良いものになるよう努めている。 | ○ | 今後も継続する。 |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | なじみの場所(美容院など)や自宅に行くよう、努めている。 | ○ | 色々なところに行けるよう、もっと回数を増やすよう努力する。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|--|-----------------------|---|
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。 | 個々のペースを考えながら一人の時、団欒などを行っている。またトラブルにならないように入居者と一緒に過ごし対応している。 | ○ | 物作り(手芸、縫い物、ちぎり絵)、家事(食器洗い、拭き)を行なうことの継続。モチーフなどの作品を作り共同作業を行っていく。 |
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。 | 入院し、解約になっても、次の入居施設の相談などを行ったり、お見舞いにいったりしている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 一人ひとりの思いを大切にしながら生活が送れるよう努めている。カンファレンスの際は本人の思いを一番に考え検討している。また症状が重度の方で言葉では表現できない方は表情やしぐさで読み取り、スタッフ間で話し合っている。 | | |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 家族による事前情報から生活習慣を考慮している。また、日々の会話から情報を記録している。 | | |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。 | バイタルチェック、申し送り、記録などで一人ひとりの心身状態の把握を行っている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | 他職種の連携、家族からの話を聞き、それをカンファレンスで話し合い、それぞれあった介護計画を作成している。 | ○ | スタッフ間の関係を良好に保ち、全員が一体となり、毎日の生活が本人の望む形になるよう、常に意見交換し計画作成に反映していく。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|--|
| 37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 定期的(3ヶ月に1回)にカンファレンスを行い、見直しを行っている。変化時には見直し対応している。 | | |
| 38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 排泄板やパソコンに記録を残し、それぞれスタッフが確認共有している。 | ○ | もっと介護計画にそった詳しい記録の入力を行っていく。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。 | できるだけ要望に応じ、買い物、外出、ドライブを行っている。 | ○ | 人材不足で本人が行きたい時に行くことができない。職員が増えていくと要望に応じることができる。 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。 | 保育園との交流、ボランティアドッグが月に1回来訪している。行事の際は、法人内にあるボランティアグループが来訪している。 | ○ | 積極的なボランティアの導入をしていきたい。 |
| 41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。 | 行っていない。 | | |
| 42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。 | 地域包括支援センターとの関わりはない。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|-----------------------|---|
| <p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>それぞれ主治医がおり、受診・往診を受けている。健康管理は、看護師を中心に 行っている。</p> | | |
| <p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p> | <p>地域にはいなく、必要時精神科医や主治医に相談している。</p> | | |
| <p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p> | <p>看護師と連携し、入居者の身体状況を把握している。</p> | ○ | <p>学習会などで医療面の勉強をもっとしていきたい。</p> |
| <p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p> | <p>入院時には認知症の症状やケアのポイントを伝え、退院時には話し合いをしている。</p> | | |
| <p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p> | <p>一部の職員のみ研修に参加したり、学習会に参加していない職員もあり、ケアの統一、共有にいたっていない。</p> | ○ | <p>研修、学習会でもっと終末期のケアを学び、ケアの統一に向けていく。</p> |
| <p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p> | <p>日々の状況を見極め、変化に対応できるよう準備をしている。</p> | ○ | <p>終末期のケアに向け、もっと話し合いを行っていく。</p> |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|--|
| 49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。 | 本人のなじみの家具や仏壇など居室に置き、少しでも安心できるように対応している。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。 | 言葉使いには十分注意しているが、時々きつい口調になることがある。個人情報を守り、プライバシーの保護に努めている。 | ○ | 大きな声を出さなくて、ゆっくり対応できるよう心がける。職員間で話している内容を入居者の方も聞いていることを考え、プライバシーの配慮に努めていく。 |
| 51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。 | 本人の選択力や決断力に応じて、自分の希望が言えるような雰囲気工夫をしたり、言葉かけを工夫している。 | ○ | 本人の希望(歌、散歩)など聞き取り組んでいる。 |
| 52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 本人のペースをくずさずゆったりと過ごしやすい環境を作り接していきたいと思っているが、業務の流れもあり、1日中本人のペースを大切にすることは難しい。 | ○ | ゆったり関わるよう、業務内容の見直しを検討する。 |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。 | 外出時に化粧し、お洒落を楽しんでいる。 | | |
| 54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 味噌汁作り、米とぎ、下膳、配膳、盛り付け、食器拭き、洗い、後片付け、個々の能力に合わせて役割分担しながら充実した食生活が送れるよう支援している。メニューは好みを聞きながら取り入れている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|-----------------------|-------------------------------|
| 55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。 | 健康上のことを考えながらお酒やタバコを提供している。本人の希望を聞き好きな飲み物を提供している。 | | |
| 56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。 | 排泄パターンを把握、声かけを工夫し、パット汚染を減らしトイレで排泄できるようにしている。また、失敗しないよう対応している。 | | |
| 57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。 | 希望があれば、入浴の回数を多くしたり、本人のペースで短時間だったり、長湯ができたりと希望に沿えるように支援している | ○ | できる範囲で本人の希望にそった入浴を楽しんでもらう。 |
| 58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。 | 安心して眠れるよう支援している。日中疲れているときは休息の声かけをしている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 一人ひとりの力(家事など)を活かし、楽しく生活している。 | ○ | 楽しみを持って暮らせるように支援していく。 |
| 60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | お金を所持して買い物している人や、お金を事務所で管理してもらい、必要時に使用する人がいる。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|--|--------------------|---|
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。 | できるだけ希望に沿って外出している。できるよう努力しているが、日によってはできないこともある。 | ○ | 人材不足で本人が行きたい時に行くことができない。職員が増えていくと要望に応じることができる。入居者全員が行なえるよう支援していきたい。 |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。 | 誕生会の企画で家族と外出することはある。日帰り温泉などグループホームの行事の企画はあるが、家族一緒にいくことはできていない。 | ○ | 家族と一緒にの外出、個別に行きたいところに行けるよう支援していく。 |
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | 居室に希望で電話をつけている人もいる。書いた手紙をポストに出している。 | ○ | 本人が手紙を出しにポストまでいけるようにしていく。 |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | 家族等が来訪時は、いつでも居心地が良く過ごせるようお茶などの飲み物を出している。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 法人内及びグループホーム内に委員会があり、定期的に話し合いを行い、委員は話し合った事を職員に伝えている。 | | |
| 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。 | 夜間帯は鍵をかけているが、日中はかけることはない。夜間は安全のための施錠であることを全スタッフが認識している。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|--|
| <p>67 ○利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p> | <p>プライバシーに配慮しながら、居場所の確認を行っているが、時折事故もある。</p> | | <p>プライバシーに配慮しながら安全な生活が送れるよう話し合いを行っていく。</p> |
| <p>68 ○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p> | <p>入居者の状況に合わせて管理している。危険のないかぎり、各居室で保管している。</p> | | |
| <p>69 ○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p> | <p>法人内及びグループホーム内の委員会で話し合い、インシデント、ヒヤリハットをまとめ、会議などで職員に伝えている。火災などは訓練やマニュアルがある。</p> | ○ | <p>安全な生活を送れるよう、職員が心がけ、事故をなくしていく。</p> |
| <p>70 ○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p> | <p>学習会を行ったり、マニュアルはあるが急変時の対応には不安がある。</p> | ○ | <p>訓練などを定期的に行い、対応できるようにしていく。</p> |
| <p>71 ○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p> | <p>定期的な避難訓練を行っているが、地域の協力は現在のところない。(法人として町内会の協力を要請し、了解を得ている)。</p> | ○ | <p>状況に合わせた、緊張感のある訓練を、できるだけ多くの入居者が参加できるようにしていく。</p> |
| <p>72 ○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p> | <p>面会時に説明している。家族と連絡をとり、理解してもらうよう努めている。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|---|-----------------------|--------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。 | バイタルチェックや普段の様子で、早期発見できるよう観察している。状況により看護師に報告、指示を受けている。 | | |
| 74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | カルテを見て、目的や副作用、用法、用量について理解を深めようとしているが、全部の把握はできていない。 | ○ | 定期的にカルテをみる。薬の勉強をする。 |
| 75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。 | 日々の排便の確認、水分、食事量のチェック、散歩、運動を行っている。便秘時には薬でのコントロールを行っている。また、朝に牛乳の提供を行っている。 | ○ | 規則正しい排便につながるよう工夫を継続していく。 |
| 76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。 | 毎食後声をかけている。不十分な場合は介助し口腔衛生を行っている。 | | |
| 77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 一日の食事量、水分摂取の観察を行い、一人ひとりに合わせた栄養や水分が確保できている。 | ○ | 食べられない物がある場合は代替を提供している。 |
| 78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等) | 手洗い、うがいの徹底、洗面所、トイレの手すりの消毒を行っている。、インフルエンザの予防接種も行っている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|--|---|-----------------------|-------------------------------|
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。 | 週一回の冷蔵庫消毒と食品のチェック、タッパ消毒、まな板、布巾の毎日の消毒。食材は新鮮なものを使いきるよう心がけている。食材と調理済食品の2週間の取り置きを行っている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。 | グループホームの玄関には植物やベンチを置き、和みやすい雰囲気になっている。ユニット玄関には入居者の作品を展示したり、季節ごとの飾りつけを行っている。 | | |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 季節ごとの花や飾りがある。照明器具の調整、カーテンで日光の調整を行っている。 | | |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | ソファや椅子が多くあり、その時々状況に応じて好きな場所に座れるようになっている。 | | |
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 居室に使い慣れたなじみの家具がある。 | | |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。 | 室温湿度の確認、窓を開け換気を行っている。ヒーター、床暖を設置している。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|---|---|--------------------------------|
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| 85 | <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | <p>手すり、引き戸や、ハンディーキャップトイレがあり、身体機能を活かした作りになっている。</p> | |
| 86 | <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p> | <p>失敗しないよう、声かけを工夫し、できる力を最大限に発揮し、本人の負担を感じさせないよう支援している。</p> | |
| 87 | <p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p> | <p>テラスでは、散歩や行事(焼肉パーティー)、花や苗を育てている。</p> | |

| V. サービスの成果に関する項目 | | |
|------------------|--|---|
| 項目 | 取り組みの成果 | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | <input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者 <input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | <input type="radio"/> ① 毎日ある <input checked="" type="radio"/> ② 数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③ たまにある <input type="radio"/> ④ ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | <input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている | <input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者 <input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | <input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらい <input checked="" type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | <input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者 <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | <input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者 <input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> ④ ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | <input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての家族 <input type="radio"/> ② 家族の2/3くらい <input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらい <input type="radio"/> ④ ほとんどできていない |

| V. サービスの成果に関する項目 | |
|------------------|--|
| 項目 | 取り組みの成果 |
| 96 | <p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③ たまに ④ ほとんどない</p> |
| 97 | <p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>① 大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くいない</p> |
| 98 | <p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>① ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない</p> |
| 99 | <p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>① ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない</p> |
| 100 | <p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>① ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ② 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが ④ ほとんどいない</p> |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)
 ・ホスピスケアと高齢者のケア
 認知症の人々の人権擁護